

# SU/SUV フォント 設定ガイド



# 目次

目次		2
本マニュ	アルについて	4
第1章	製品概要	6
1-1	サポートする日本語の文字種	7
1-2	対応製品バージョン	8
1-3	対応機種	8
1-4	制限事項	9
第2章	インストールとアンインストール1	0
2-1	SU/SUV フォントのインストール	.0
2-2	SU/SUV フォントのアンインストール	.0
第3章	SVF Ver. 9.0 以降でのフォントの使用1	1
3-1	グラフィックモードの共通設定1	. 1
3-2	PDF	.4
3	3-2-1 グラフィックモード	.4
3	3-2-2 ベーシックモード	20
3-3	EMF	25
3	3-3-1 グラフィックモード2	25
3	3-3-2 ベーシックモード	25
3-4	EMFPLUS	6
3	3-4-1 グラフィックモード2	6
3	3-4-2 ベーシックモード	6
3-5	SVF for Java Print のプリンター機種2	27
3	3-5-1 グラフィックモード2	27
3	3-5-2 ベーシックモード	8
第4章	SVF Ver. 8.2 以前でのフォントの使用3	0
4-1	グラフィックモードの共通設定	0
4-2	PDF	1
۷	<b>1-2-1</b> グラフィックモード	1
۷	1-2-2 ベーシックモード	4
	EMF	
	1-3-1 グラフィックモード3	
	1-3-2 ベーシックモード	
4-4	SVF for Java Print のプリンター機種3	7
2	1-4-1 グラフィックモード	37

4-4-2 ベーシックモード	2-
4-5 サロゲートペア文字の出力	38
4-5-1 対応機種	38
4-5-2 SVF 環境設定ファイルの変更	38
4-5-3 プリンター機種別設定	39
4-5-4 SVF 関連製品からのサロゲートペア文字の出力	40
4-5-5 制限事項	41
第5章 SVF 関連製品からの出力	42

# 本マニュアルについて

本マニュアルでは、SU フォントおよび SU フォント Windows Vista 互換のセットアップ方法、設定方法について説明します。

# ■マニュアルの構成

本マニュアルの構成は、次のとおりです。

- 第1章 製品概要 (P.6)
- 第2章 インストールとアンインストール (P.10)
- 第3章 SVF Ver. 9.0 以降でのフォントの使用 (P.11)
- 第4章 SVF Ver. 8.2 以前でのフォントの使用 (P.30)
- 第5章 SVF 関連製品からの出力 (P.42)

## ■ マニュアル内で使用する表記

マニュアル内で使用する表記について説明します。

### ■ 注意、参考、制限事項

マニュアル内では、注意、参考、制限事項を次のように区別して記載しています。

#### ▲注意

操作によって元の状態に戻れなくなる場合や、元の状態に戻るのが難しい場合に、このパーツで示します。

### ቇ፟参考

製品を使用する上での補足情報を、このパーツで示します。

### ❤ 制限事項

製品の制限をこのパーツで示します。

# ■記号

マニュアル内で使用する記号の意味は、次のとおりです。

記号	表記例	意味
[]	[分析実行]	製品画面に表示されている項目名やメニュー名を表します。 OS や
		他社製品の項目名やメニュー名も同様に表します。
<>	http://<サーバー名または IP アドレス>	URL やファイル名の一部など、環境によって変わる文字列を表しま
		す。また、コマンドの引数もこの記号で表します。

## ■ その他

- SU フォント Windows Vista 互換を「SUV フォント」と表記します。
- SU フォントおよび SUV フォントの両方を示す場合は、「SU/SUV フォント」と表記します。

# ■ 発行

2016年5月27日 初版

本マニュアルの内容は予告なく変更することがあります。

# ■商標と著作権

## ■商標

本マニュアルに記載されている社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

# ■ 著作権

(C) 1995 WingArc1st Inc. All rights reserved.

# 第1章 製品概要

SVF では、SVF および関連製品で利用する SU フォントおよび SU フォント Windows Vista 互換(以下、「SUV フォント」)を提供しています。 SU/SUV フォントは、次のような場合などに利用します。

- SVF 製品を UNIX/Linux 環境で使用する場合に、Windows 搭載フォントの代替フォントとして利用する。
- 異なる OS 間で同一のフォントを利用するために、実行サーバーでフォントを埋め込んだり、クライアントで表示したりする。

提供している SU/SUV フォントの種類は、以下のとおりです。

# ■ 提供している SU フォントの種類

書体名	TTF ファイル名
SU 明朝	SUJPMLF.TTF
SUP 明朝	SUJPMLP.TTF
SU ゴシック	SUJPGBF.TTF
SUP ゴシック	SUJPGBP.TTF
SU ゴシック M	SUJPGMF.TTF
SUP ゴシック M	SUJPGMP.TTF
SUS ゴシック M	SUJPGMS.TTF
SU ゴシック E	SUJPGEF.TTF
SUP ゴシック E	SUJPGEP.TTF
SUS ゴシック E	SUJPGES.TTF
SU 明朝 B	SUJPMBF.TTF
SUP 明朝 B	SUJPMBP.TTF
SUS 明朝 B	SUJPMBS.TTF
SUM ゴシック M-Pro	SUMGOTMP.TTF
その他日本語 TrueType	SUMILLEB.TTF
OCR-B	SUOCRB.TTF
簡体ゴシック	SUSIMGOT.TTF
繁体ゴシック	SUTRAGOT.TTF
繁体宋体	SUTRAMIN.TTF
ハングルゴシック	SUHANGOT.TTF
SUEuropeanH(ゴシック)	SULT1GOT.TTF
SUEuropeanR(明朝)	SULT1MIN.TTF
SUPEuropeanH(ゴシック)	SULT1PGOT.TTF
SUPEuropeanR(明朝)	SULT1PMIN.TTF

### ፝ 参考

- 中国語簡体字フォントは中国政府の「中文信息処理産品標準符合性検測中心」(中国語情報処理製品標準符合性検査センター)により認定済みの TrueType フォントです。
- 中国語繁体字フォントは台湾フォントメーカー「AVECTOR TECHNOLOGY」社製 TrueType フォントを(株)リコーが SVF 用にチューニングしたフォントです。

# ■ 提供している SUV フォントの種類

書体名	TTFファイル名
SUMinchoV	SUJPMLFV.TTF
SUPMinchoV	SUJPMLPV.TTF
SUGothicV	SUJPGBFV.TTF
SUPGothicV	SUJPGBPV.TTF

# 1-1 サポートする日本語の文字種

# ■ SU フォント

- JIS X 0208:1997 規格に含まれる文字を出力できます。
- SU フォントがサポートする文字種は、以下のとおりです。

  JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準、半角、非漢字、IBM/NEC 外字
- 文字数は、7,882 文字です。

# ■ SUV フォント

- JIS X 0213:2004 規格に含まれる文字を出力できます。 IVS 文字には対応していません。
- SUV フォントがサポートする文字種は、以下のとおりです。JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準、JIS 第 3 水準、JIS 第 4 水準、半角、非漢字、IBM/NEC 外字、補助漢字
- 文字数は、16,051 文字です。

#### ▲注意

SU/SUV フォントは、UNIX/Linux 環境で使用する場合に Windows 搭載フォントの代替フォントとして利用可能ですが、含まれる文字や属性など、すべてが一致しているわけではありません。

# ፝ 参考

JIS X 0213:2004 とは、JIS X 0208 を包括し、第 3 水準、および、第 4 水準の文字を追加した文字集合で、Windows Vista / Windows Server 2008 以降の Windows には、JIS X 0213:2004 対応の日本語フォントが標準搭載されています。 SUV フォントを利用することで、それらの環境と同等の日本語文字出力が可能になります。

# 1-2 対応製品バージョン

SU/SUV フォントは、次の製品とバージョンに対応しています。

SVF 実行部製品	SVF for PDF Ver. 8 以降
	SVF for Java Print Ver. 8以降
	SVF for PDF Client Edition Ver. 9.2 以降
SVF 設計部製品	SVFX-Designer Ver. 8 以降
	SVF Web Designer Ver. 9.2 以降
SVF 関連製品	Universal Connect/X Ver. 8 以降
	Report Director Enterprise Ver. 8以降
	SVF Connect for Java API Ver. 8以降
	SVF Connect for ASP/COM API
	SVF Client for .NET Framework API Plus Ver. 1.0 以降(*1)
	SVF for Web/Client Ver. 8以降

<sup>\*1.</sup> SVF 製品(Java 版)の Ver. 9.1 以降で出力した帳票データに対応しています。

# 1-3 対応機種

SU/SUV フォントは、次の機種に対応しています。

- PDF
- EMF
- EMFPLUS (Ver.9.0 以降)
- Adobe PostScript
- FUJI XEROX DP Series
- Hitachi Prinfina MANAGER PS
- UNISYS JPP
- FUJI XEROX ART4

- Hewlett-Packard PCL5 (Ver.9.1 以降)
- Canon LIPS4
- RICOH RPCS
- Zebra (Ver.9.1以降)
- SATO (Ver.9.2 SP3 以降)

#### ✔ 制限事項

Canon LIPS4、RICOH RPCS、FUJI XEROX ART4 は、固定文字やフィールドを作成する際に、グラフィックモードを指定してください。

# ፝ 参考

対応していない機種で出力する場合は、ソフトフォントを使用して出力してください。ソフトフォントの設定方法については、「SVF for Java Print ユーザーズマニュアル」または「SVF for PDF ユーザーズマニュアル」を参照してください。

# 1-4 制限事項

# ■ SU フォント

■ 補助漢字は含まれません。

# ■ SUV フォント

■ SUV フォントでは、Unicode の外字領域「F7CF~F8FE」にサロゲートペア領域の文字が割り当てられているため、外字を使用する場合、この領域は使用できません。

# ■ SU/SUV フォント

■ SU/SUV フォントは、SVF および SVF 関連製品で利用してください。

# 第2章 インストールとアンインストール

ここでは、SVF サーバーに SU/SUV フォントをインストールする方法とアンインストールする方法について説明します。

# 2-1 SU/SUVフォントのインストール

SU/SUV フォントをインストールするには、次のフォルダー(ディレクトリ)にフォントを配置します。

■ Windows 環境

%SystemRoot%¥Fonts

■ UNIX/Linux 環境

\$JAVA\_HOME/jre/lib/fonts



- インストールしたフォントをフォント設定やソフトフォントユーティリティなどで指定する場合は、フォントを配置した後に SVFWebService、または SVF Java PRODUCTS WEB Server Service のサービス(プロセス)を再起動してください。
- インストールしたフォントが認識されない場合は、OS を再起動してください。

# 2-2 SU/SUVフォントのアンインストール

SU/SUV フォントをアンインストールするには、配置したフォルダー(ディレクトリ)からフォントを削除します。

# 第3章 SVF Ver. 9.0以降でのフォントの使用

ここでは、様式ファイルで固定文字やフィールドを作成する際に、グラフィックモードを指定したときと、ベーシックモードを指定したときの SU/SUV フォントを使用するための設定方法を、出力するプリンター機種ごとに説明します。

# 3-1 グラフィックモードの共通設定

様式ファイルでグラフィックモードのアイテムを作成するときは、SU/SUV フォント、MS フォントのどちらを指定しても出力できます。ただし、MS フォントを指定した場合は、SVF 環境設定で、実行時に SU/SUV フォントを代替フォントとして使用するための設定が必要です。

# ቇ参考

様式ファイルでグラフィックモードのアイテムを作成するときに、SU/SUV フォントを指定した場合は、この設定は必要ありません。

設定方法は次のとおりです。

#### 1.

SVF 環境設定を起動し、 [プリンターツリー] で SVF サーバーを選択した後、 [オプション] ー [プロパティエディター] を選択します。

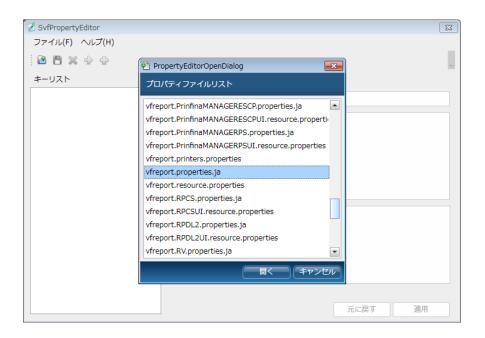
[パスワード] 画面が表示されます。入力するパスワードはサポートセンターへお問い合わせください。

### 2

[SvfPropertyEditor] 画面で、「ファイル] – 「ファイルを開く」を選択するか、 M ボタンをクリックします。

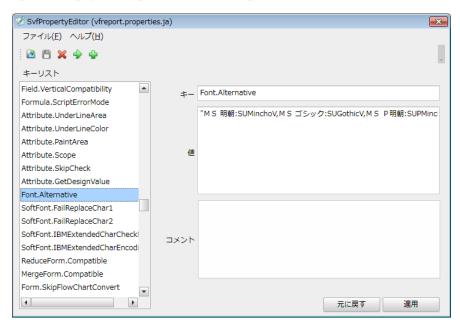
[PropertyEditorOpenDialog] 画面で、[vfreport.properties.<□ケール>\*1] を選択し、[開く] ボタンをクリックします。

\*1 ロケールには、実行する言語の以下のいずれかの SVF ロケールが入ります。 ja、cs CZ、en、fr FR、ko、zh CN、zh TW、th TH



3.

[キーリスト] 欄から、[Font.Alternative] をクリックして選択します。



[値] 欄に、様式ファイルでアイテムを作成するときに指定したフォントと SVF サーバー上にインストールした SU/SUV フォントを紐付けするために、以下の記述に変更します。

"<様式ファイルで指定したフォント名>:<代替フォント名>"

#### 設定例

"MS 明朝:SUMinchoV,MS ゴシック:SUGothicV,MS P明朝:SUPMinchoV,MS Pゴシック:SUPGothicV"変更後、[適用] ボタンをクリックします。

## ቇ参考

vfreport.properties.ja ファイルには次の SU フォントは、あらかじめ設定されています。設定されている SU フォント以外を使用する場合は、設定を変更する必要があります。

- SUMincho
- SUGothic
- SUPMincho
- SUPGothic
- SUEuropeanR
- SUOCR-B

## 4.

[SvfPropertyEditor] 画面で、[ファイル] – [保存] を選択するか、 闇 ボタンをクリックします。

## 5.

確認画面が表示されるので、 [はい] ボタンをクリックします。

## ቇ፟参考

[Font.Alternative] で設定した<様式ファイルで指定したフォント名>と<代替フォント名>の両方がインストールされている場合、 <代替フォント名>が使用されます。<様式ファイルで指定したフォント名>を使用したい場合は、[Font.Alternative] の該当するフォントの設定を削除してください。

# 3-2 PDF

ここでは、PDF 機種で SU/SUV フォントを使用するための設定方法を説明します。

# 3-2-1 グラフィックモード

様式ファイルでアイテムを作成するときに、MS フォントを指定した場合は、「3-1 グラフィックモードの共通設定」(<u>P.11</u>)を設定してください。

# ■フォントを埋め込む場合

SVF 環境設定で PDF プリンター機種の [フォント設定] を設定します。



- [フォント名] に、様式ファイルで指定したフォント名ではなく、 [Font.Alternative] で指定した <代替フォント名> を指定します。
- [フォントパス] に、SU/SUV フォントのファイル名をフルパスで指定します。
- [埋め込み] に、「する」を指定します。

#### ቇ参考

- 上の図の場合、PDF ファイルの[文書のプロパティ] [フォント]で表示されるフォント名は「SUMinchoV」です。
- PDF ファイルの表示環境に、SU/SUV フォントは必要ありません。

# ■フォントを埋め込まない場合

Ver. 9.2 SP2 までと Ver. 9.2 SP3 以降とでは手順が異なります。

### ■ Ver. 9.2 SP2 までの手順

#### 1.

SVF 環境設定で PDF プリンター機種の [フォント設定] を設定します。



- [フォント名] に、様式ファイルで指定したフォント名ではなく、 [Font.Alternative] で指定した <代替フォント名> を指定します。
- [フォントパス] に、SU/SUV フォントのファイル名をフルパスで指定します。
- [埋め込み] に、「しない」を指定します。

#### ቇ፟参考

- 上の図の場合、PDF ファイルの[文書のプロパティ] [フォント]で表示されるフォント名は「SUMinchoV」です。
- PDF ファイルの表示環境に、SU/SUV フォントが必要です。

PDF ファイルの表示環境に、SU/SUV フォントを配置しない場合は、SVF 環境設定で、PDF ファイルに表示されるフォントをMS フォントに戻す設定が必要です。

次の SU フォントは、あらかじめ MS フォントに戻すように設定されています。

- SUMincho
- SUGothic
- SUPMincho
- SUPGothic
- SUEuropeanR
- SUOCR-B

上記の SU フォントを PDF ファイルの表示環境に配置しない場合は、2. 以降の手順は不要です。

上記の SU フォントを PDF ファイルの表示環境に配置し表示させたい場合は、MS フォントに戻す設定を削除する必要があります。2. 以降の手順に進んでください。

上記の SU フォント以外のフォントを PDF ファイルの表示環境に配置する場合は、2. 以降の手順は不要です。 上記の SU フォント以外のフォントを PDF ファイルの表示環境に配置しない場合は、2. 以降の手順に進んでください。

## ፝ 参考

PDF ファイルの表示環境に、SU/SUV フォントを配置しない場合は、ソフトフォントを使用して出力することも可能です。ソフトフォントの設定方法については、「SVF for Java Print ユーザーズマニュアル」または「SVF for PDF ユーザーズマニュアル」を参照してください。

### 2.

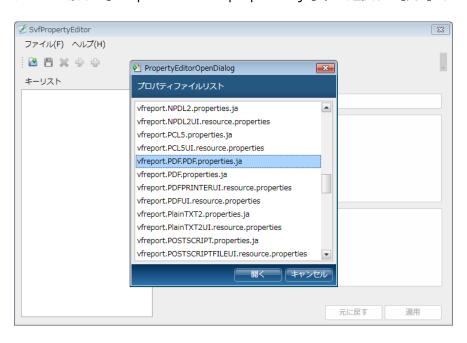
SVF 環境設定を起動し、 [プリンターツリー] で SVF サーバーを選択した後、 [オプション] – [プロパティエディター] を選択します。

[パスワード] 画面が表示されます。入力するパスワードはサポートセンターへお問い合わせください。

#### 3.

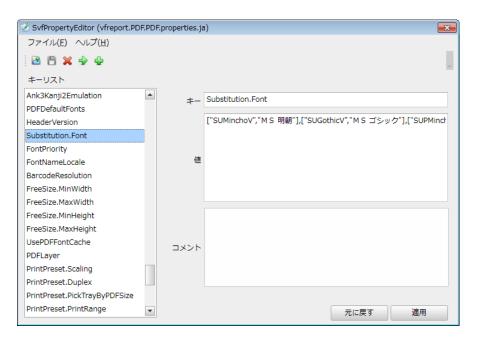
[SvfPropertyEditor] 画面で、「ファイル] – 「ファイルを開く」を選択するか、 M ボタンをクリックします。

[PropertyEditorOpenDialog] 画面で、出力する PDF のプリンター機種の設定ファイル(日本語のデフォルトの PDF プリンターの場合、 [vfreport.PDF.PDF.properties.ja] )を選択し、 [開く] ボタンをクリックします。



#### 4.

[キーリスト] 欄から、[Substitution.Font] をクリックして選択します。



#### ▶ あらかじめ設定されているSUフォント以外のフォントを表示環境に配置しない場合

[値] 欄に、実行時に [Font.Alternative] で設定した代替フォント名から PDF ファイルに表示するフォントを紐付けするために、以下の記述で設定します。

["<代替フォント名>","<PDFファイルで表示させるフォント名>"]

#### 設定例

["SUMinchoV","MS 明朝"],["SUGothicV","MS ゴシック"]

変更後、[適用] ボタンをクリックします。

#### ▶ あらかじめ設定されているSUフォントを表示環境に配置し表示させたい場合

[値] 欄の該当する SU フォントの設定を削除し、[適用] ボタンをクリックします。

### 5.

Ver. 9.2 SP2 以降で [Windows リーダー互換] に「有効」を指定して実行している場合は、 [キーリスト] 欄から、 [Substitution.Font.ForWindowsReader] をクリックして選択します。

[値] 欄に、実行時に代替フォントとして使用した SU/SUV フォントから PDF ファイルに表示させるフォントを紐付けするために、以下の記述で設定します。

["<代替フォント名>","<PDF ファイルで表示させるフォント名(英名)>"]

#### 設定例

["SUMinchoV","MS-Mincho"],["SUGothicV","MS-Gothic"]

変更後、[適用] ボタンをクリックします。

#### 6.

[SvfPropertyEditor] 画面で、[ファイル] – [保存] を選択するか、 💾 ボタンをクリックします。

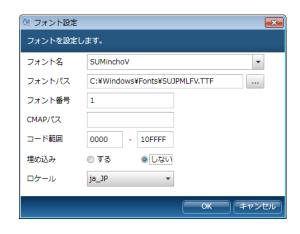
## 7.

確認画面が表示されるので、 [はい] ボタンをクリックします。

### ■ Ver. 9.2 SP3 以降の手順

#### 1.

SVF 環境設定で PDF プリンター機種の [フォント設定] を設定します。



- [フォント名] に、様式ファイルで指定したフォント名ではなく、 [Font.Alternative] で指定した <代替フォント名> を指定します。
- [フォントパス] に、SU/SUV フォントのファイル名をフルパスで指定します。
- [埋め込み] に、「しない」を指定します。

#### ቇ፟参考

- 上の図の場合、PDF ファイルの[文書のプロパティ] [フォント]で表示されるフォント名は「SUMinchoV」です。
- PDF ファイルの表示環境に、SU/SUV フォントが必要です。

PDF ファイルの表示環境に、SU/SUV フォントを配置しない場合は、SVF 環境設定で、PDF ファイルに表示されるフォントをMS フォントに戻す設定が必要です。

次の SU フォントは、あらかじめ MS フォントに戻すように設定されています。

- SUMincho
- SUGothic

- SUPMincho
- SUPGothic
- SUEuropeanR
- SUOCR-B

上記の SU フォントを PDF ファイルの表示環境に配置しない場合は、2. 以降の手順は不要です。

上記の SU フォントを PDF ファイルの表示環境に配置し表示させたい場合は、MS フォントに戻す設定を削除する必要があります。2. 以降の手順に進んでください。

上記の SU フォント以外のフォントを PDF ファイルの表示環境に配置する場合は、2. 以降の手順は不要です。

上記の SU フォント以外のフォントを PDF ファイルの表示環境に配置しない場合は、2. 以降の手順に進んでください。

## ቇ参考

PDF ファイルの表示環境に、SU/SUV フォントを配置しない場合は、ソフトフォントを使用して出力することも可能です。ソフトフォントの設定方法については、「SVF for Java Print ユーザーズマニュアル」または「SVF for PDF ユーザーズマニュアル」を参照してください。

#### 2.

SVF 環境設定で PDF プリンター機種の [代替フォント] を設定します。

▶ あらかじめ設定されているSUフォント以外のフォントを表示環境に配置しない場合

実行時に [Font.Alternative] で指定した代替フォント名から PDF ファイルに表示するフォントを紐付けするために、以下の記述で設定します。

["<代替フォント名>","<PDF ファイルで表示させるフォント名>"]

#### 設定例

["SUMinchoV","MS 明朝"],["SUGothicV","MS ゴシック"]

▶ あらかじめ設定されているSUフォントを表示環境に配置し表示させたい場合 該当する SU フォントの設定を削除します。

#### 3.

Ver. 9.2 SP2 以降で [Windows リーダー互換] に「有効」を指定して実行している場合は、 [代替フォント (Windows リーダー互換用)] を指定します。実行時に代替フォントとして使用した SU/SUV フォントから PDF ファイルに表示させるフォントを紐付けするために、以下の記述で設定します。

["<代替フォント名>","<PDF ファイルで表示させるフォント名(英名)>"]

#### 設定例

["SUMinchoV","MS-Mincho"],["SUGothicV","MS-Gothic"]

### 4.

[選択したプリンターの変更を保存します。] ボタンをクリックします。

# 3-2-2 ベーシックモード

様式ファイルでアイテムを作成するときに、SU/SUV フォント、MS フォントのどちらを指定しても出力できます。

# ■フォントを埋め込む場合

SVF 環境設定で PDF プリンター機種の [フォント設定] を設定します。



- [フォント名] に、様式ファイルでアイテムを設計するときに指定したフォント名を指定します。
- [フォントパス] に、SU/SUV フォントのファイル名をフルパスで指定します。
- [埋め込み] に、「する」を指定します。

### ቇ参考

- 上の図の場合、PDF ファイルの [文書のプロパティ] [フォント] で表示されるフォント名は「SUMinchoV」です。
- PDF ファイルの表示環境に、SU/SUV フォントは必要ありません。

# ■ フォントを埋め込まない場合

Ver. 9.2 SP2 までと Ver. 9.2 SP3 以降とでは手順が異なります。

## ■ Ver. 9.2 SP2 までの手順

## 1.

SVF 環境設定で PDF プリンター機種の [フォント設定] を設定します。



- [フォント名] に、様式ファイルでアイテムを設計するときに指定したフォント名を指定します。
- [フォントパス] に、SU/SUV フォントのファイル名をフルパスで指定します。
- [埋め込み] に、「しない」を指定します。

### 🌶 参考

- 上の図の場合、PDF ファイルの [文書のプロパティ] [フォント] で表示されるフォント名は「SUMinchoV」です。
- PDF ファイルの表示環境に、SU/SUV フォントが必要です。

PDF ファイルの表示環境に、SU/SUV フォントを配置する場合は、2. 以降の手順は不要です。

PDF ファイルの表示環境に、SU/SUV フォントを配置しない場合は、様式ファイルで指定したフォントと PDF ファイルで表示させるフォントを紐付けることができます。2. 以降の手順に進んでください。

#### ቇ参考

PDF ファイルの表示環境に、SU/SUV フォントを配置しない場合は、ソフトフォントを使用して出力することも可能です。ソフトフォントの設定方法については、「SVF for Java Print ユーザーズマニュアル」または「SVF for PDF ユーザーズマニュアル」を参照してください。

#### 2.

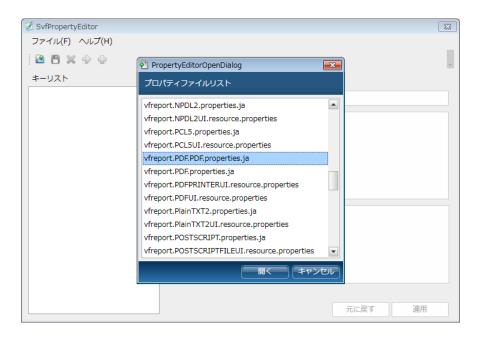
SVF 環境設定を起動し、 [プリンターツリー] で SVF サーバーを選択した後、 [オプション] ー [プロパティエディター] を選択します。

[パスワード] 画面が表示されます。入力するパスワードはサポートセンターへお問い合わせください。

### 3.

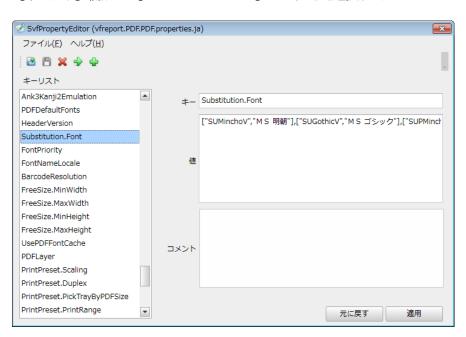
[SvfPropertyEditor] 画面で、「ファイル] – 「ファイルを開く」を選択するか、 M ボタンをクリックします。

[PropertyEditorOpenDialog] 画面で、出力する PDF のプリンター機種の設定ファイル(日本語のデフォルトの PDF プリンターの場合、 [vfreport.PDF.PDF.properties.ja] )を選択し、 [開く] ボタンをクリックします。



### 4.

[キーリスト] 欄から、 [Substitution.Font] をクリックして選択します。



[値] 欄に、様式ファイルで指定したフォント名から PDF ファイルに表示するフォントを紐付けするために、以下の記述で設定します。

["<様式ファイルで指定したフォント名>","<PDF ファイルで表示させるフォント名>"]

▶ 様式ファイルでSUVフォントを指定した場合の設定例

["SUMinchoV","MS 明朝"],["SUGothicV","MS ゴシック"]

#### ▶ 様式ファイルでMSフォントを指定した場合の設定例

["MS 明朝","MS 明朝"],["MS ゴシック","MS ゴシック"]

変更後、「適用」ボタンをクリックします。

### 5.

Ver. 9.2 SP2 以降で [Windows リーダー互換] に「有効」を指定して実行している場合は、 [キーリスト] 欄から、 [Substitution.Font.ForWindowsReader] をクリックして選択します。

[値] 欄に、様式ファイルで指定したフォント名から PDF ファイルに表示させるフォントを紐付けするために、以下の記述で指定します。

["<様式ファイルで指定したフォント名>","<PDF ファイルで表示させるフォント名(英名)>"]

▶ 様式ファイルでSUVフォントを指定した場合の設定例

["SUMinchoV","MS-Mincho"],["SUGothicV","MS-Gothic"]

▶ 様式ファイルでMSフォントを指定した場合の設定例

["MS 明朝","MS-Mincho"],["MS ゴシック","MS-Gothic"]

変更後、「適用」ボタンをクリックします。

#### 6.

[SvfPropertyEditor] 画面で、[ファイル] – [保存] を選択するか、 闇 ボタンをクリックします。

### 7.

確認画面が表示されるので、 [はい] ボタンをクリックします。

### ■ Ver. 9.2 SP3 以降の手順

### 1.

SVF 環境設定で PDF プリンター機種の [フォント設定] を設定します。



- [フォント名] に、様式ファイルでアイテムを設計するときに指定したフォント名を指定します。
- [フォントパス] に、SU/SUV フォントのファイル名をフルパスで指定します。
- [埋め込み] に、「しない」を指定します。

#### ቇ参考

- 上の図の場合、PDF ファイルの [文書のプロパティ] [フォント] で表示されるフォント名は「SUMinchoV」です。
- PDF ファイルの表示環境に、SU/SUV フォントが必要です。

PDF ファイルの表示環境に、SU/SUV フォントを配置する場合は、2. 以降の手順は不要です。

PDF ファイルの表示環境に、SU/SUV フォントを配置しない場合は、様式ファイルで指定したフォントと PDF ファイルで表示させるフォントを紐付けることができます。2. 以降の手順に進んでください。

#### ቇ参考

PDF ファイルの表示環境に、SU/SUV フォントを配置しない場合は、ソフトフォントを使用して出力することも可能です。ソフトフォントの設定方法については、「SVF for Java Print ユーザーズマニュアル または「SVF for PDF ユーザーズマニュアル を参照してください。

#### 2.

SVF 環境設定で PDF プリンター機種の [代替フォント] を設定します。

様式ファイルで指定したフォント名から PDF ファイルに表示するフォントを紐付けするために、以下の記述で設定します。

["<様式ファイルで指定したフォント名>","<PDF ファイルで表示させるフォント名>"]

▶ 様式ファイルでSUVフォントを指定した場合の設定例

["SUMinchoV","MS 明朝"],["SUGothicV","MS ゴシック"]

▶ 様式ファイルでMSフォントを指定した場合の設定例

["MS 明朝","MS 明朝"],["MS ゴシック","MS ゴシック"]

#### 3.

Ver. 9.2 SP2 以降で [Windows リーダー互換] に「有効」を指定して実行している場合は、 [代替フォント (Windows リーダー互換用)] を指定します。様式フィルで指定したフォント名から PDF ファイルに表示させるフォントを紐付けするために、以下の記述で設定します。

["<様式ファイルで指定したフォント名>","<PDF ファイルで表示させるフォント名(英名)>"]

▶ 様式ファイルでSUVフォントを指定した場合の設定例

["SUMinchoV","MS-Mincho"],["SUGothicV","MS-Gothic"]

▶ 様式ファイルでMSフォントを指定した場合の設定例

["MS 明朝","MS-Mincho"],["MS ゴシック","MS-Gothic"]

#### 4.

[選択したプリンターの変更を保存します。] ボタンをクリックします。

# 3-3 EMF

ここでは、EMF機種でSU/SUVフォントを使用するための設定方法を説明します。

# 3-3-1 グラフィックモード

# ▲注意

EMF 機種での出力は、グラフィックモードのアイテムが 1 つでも存在すると、ページ全体がイメージとして出力されるため、ベーシックモードのみのアイテムで出力したときと比較して処理時間が長くなり、ファイルサイズが大きくなります。

様式ファイルでグラフィックモードのアイテムを作成するときに、MS フォント指定した場合は、「3-1 グラフィックモードの共通設定」(P.11)を設定してください。

EMF 機種の設定は必要ありません。

# 3-3-2 ベーシックモード

様式ファイルでアイテムを作成するときに、SU/SUV フォントを指定してください。

SVF 環境設定、EMF 機種の設定は必要ありません。

### ፝ 参考

- ベーシックモードで出力する場合、EMF ファイルの表示環境に、SU/SUV フォントが必要です。
- EMF ファイルの表示環境に SU/SUV フォントを配置しない場合は、ソフトフォントを使用して出力することも可能です。ソフトフォントの設定方法については、「SVF for Java Print ユーザーズマニュアル」または「SVF for PDF ユーザーズマニュアル」を参照してください。

# 3-4 EMFPLUS

ここでは、EMFPLUS 機種で SU/SUV フォントを使用するための設定方法を説明します。

# 3-4-1 グラフィックモード

様式ファイルでグラフィックモードのアイテムを作成するときに、MS フォント指定した場合は、「3-1 グラフィックモードの共通設定」(P.11)を設定してください。

SVF 環境設定、EMFPLUS 機種の設定は必要ありません。

## ቇ参考

- グラフィックモードで出力する場合、EMFPLUS ファイルの表示環境に、様式ファイルでアイテムを作成するときに指定したフォントが必要です。
- EMFPLUS ファイルの表示環境に、様式ファイルでアイテムを作成するときに指定したフォントを配置しない場合は、ソフトフォントを使用して出力することも可能です。ソフトフォントの設定方法については、「SVF for Java Print ユーザーズマニュアル」または「SVF for PDF ユーザーズマニュアル」を参照してください。

# 3-4-2 ベーシックモード

様式ファイルでアイテムを作成するときに、SU/SUV フォントを指定してください。

SVF 環境設定、EMFPLUS 機種の設定は必要ありません。

## ፝ 参考

- ベーシックモードで出力する場合、EMFPLUS ファイルの表示環境に、SU/SUV フォントが必要です。
- EMFPLUS ファイルの表示環境に SU/SUV フォントを配置しない場合は、ソフトフォントを使用して出力することも可能です。 ソフトフォントの設定方法については、「SVF for Java Print ユーザーズマニュアル」または「SVF for PDF ユーザーズマニュアル」を参照してください。

# 3-5 SVF for Java Printのプリンター機種

ここでは、SVF for Java Print のプリンター機種で SU/SUV フォントを使用するための設定方法を説明します。

# 3-5-1 グラフィックモード

様式ファイルでグラフィックモードのアイテムを作成するときに、MS フォント指定した場合は、「3-1 グラフィックモードの共通設定」(P.11)を設定してください。

# Adobe PostScript、FUJI XEROX DP Series、Hitachi Prinfina MANAGER PS、UNISYS JPP

SVF 環境設定でプリンター機種の [フォント設定] を設定します。



- [フォント名]に、様式ファイルで指定したフォント名ではなく、[Font.Alternative]で指定した <代替フォント名> を指定します。
- [適用種別] に、[embed] または [embed+metrics] を指定します。
- [適用種別] に [embed+metrics] を指定した場合、 [メトリクスファイルパス] に、SU/SUV フォントのファイル名をフルパスで指定します。
- [埋め込みファイルパス] に、SU/SUV フォントのファイル名をフルパスで指定します。

# ■ Canon LIPS4、Hewlett-Packard PCL5、RICOH RPCS、FUJI XEROX ART4

SVF 環境設定でプリンター機種の設定は必要ありません。グラフィックモードを指定したアイテムは、イメージで出力されます。

# 3-5-2 ベーシックモード

# Adobe PostScript、FUJI XEROX DP Series、Hitachi Prinfina MANAGER PS、UNISYS JPP

SVF 環境設定でプリンター機種の [フォント設定] を設定します。



- [フォント名] に、様式ファイルでアイテムを作成するときに指定したフォント名を指定します。
- [適用種別] に、[embed] または [embed+metrics] を指定します。
- [適用種別] に [embed+metrics] を指定した場合、 [メトリクスファイルパス] に、SU/SUV フォントのファイル名をフルパスで指定します。
- [埋め込みファイルパス] に、SU/SUV フォントのファイル名をフルパスで指定します。

## Hewlett-Packard PCL5

SVF 環境設定でプリンター機種の [フォント設定] を設定します。



- [フォント名] に、様式ファイルでアイテムを作成するときに指定したフォント名を指定します。
- [フォントパス] に、SU/SUV フォントのファイル名をフルパスで指定します。

# **■ Zebra、SATO**

プリンター側に SU/SUV フォントを追加した後に、SVF 環境設定でプリンター機種の [フォント設定] を設定します。

# ፝ 参考

プリンター側にフォントを追加する方法については、プリンターのマニュアルを参照してください。



- [フォント名] に、様式ファイルでアイテムを作成するときに指定したフォント名を指定します。
- [デバイスのフォント名] に、SU/SUV フォントのデバイスのフォント名を指定します。

# ■ Canon LIPS4、RICOH RPCS、FUJI XEROX ART4

SU/SUV フォントの出力に対応していません。

## ፝ 参考

これらのプリンター機種で、ベーシックモードで出力したい場合や、グラフィックモードに対応していないプリンター機種で出力する場合は、ソフトフォントを使用して出力してください。ソフトフォントの設定方法については、「SVF for Java Print ユーザーズマニュアル」または「SVF for PDF ユーザーズマニュアル」を参照してください。

# 第4章 SVF Ver. 8.2以前でのフォントの使用

ここでは、様式ファイルで固定文字やフィールドを作成する際に、グラフィックモードを指定したときと、ベーシックモードを指定したときの SU/SUV フォントを使用するための設定方法を、出力するプリンター機種ごとに説明します。

# 4-1 グラフィックモードの共通設定

様式ファイルでグラフィックモードのアイテムを作成するときは、SU/SUV フォント、MS フォントのどちらを指定しても出力できます。ただし、MS フォントを指定した場合は、SVF 環境設定で、実行時に SU/SUV フォントを代替フォントとして使用するための設定が必要です。



様式ファイルでグラフィックモードのアイテムを作成するときに、SU/SUV フォントを指定した場合は、この設定は必要ありません。

設定方法は次のとおりです。

#### 1.

以下の場所にある「vfreport.properties. <ロケール>\*1」をテキストエディターで開きます。

UNIX/Linux 版	\$FIT_PRODUCTS_BASE/svfjpd/lib 配下
Windows 版	%FIT_PRODUCTS_BASE%¥svfjpd¥lib 配下

\*1 ロケールには、実行する言語の以下のいずれかの SVF ロケールが入ります。 ja、cs\_CZ、en、fr\_FR、ko、zh\_CN、zh\_TW、th\_TH

#### 2.

次の箇所を、様式ファイルでアイテムを作成するときに指定したフォントと SVF サーバー上にインストールした SU/SUV フォントを紐付けするために、以下の記述に変更し、上書き保存します。

Font.Alternative="<様式ファイルで指定したフォント名>:<代替フォント名>"

#### 設定例

Font.Alternative="MS 明朝:SUMinchoV,MS ゴシック:SUGothicV,MS P明朝:SUPMinchoV,MS Pゴシック:SUPGothicV"

#### ▲注意

ファイルを保存する際は、言語ごとのエンコーディングを指定してください。

### ቇ፟参考

- vfreport.properties.ja ファイルには、次の SU フォントは、あらかじめ設定されています。設定されている SU フォント以外を使用する場合は、設定を変更する必要があります。
  - SUMincho
  - SUGothic
  - SUPMincho
  - SUPGothic
  - SUEuropeanR
  - SUOCR-B
- [Font.Alternative] で指定した<様式ファイルで指定したフォント名>と<代替フォント名>の両方がインストールされている場合、<代替フォント名>が使用されます。<様式ファイルで指定したフォント名>を使用したい場合は、 [Font.Alternative] の該当するフォントの設定を削除してください。

# 4-2 PDF

ここでは、PDF 機種で SU/SUV フォントを使用するための設定方法を説明します。

# 4-2-1 グラフィックモード

様式ファイルでアイテムを作成するときに、MS フォントを指定した場合は、「4-1 グラフィックモードの共通設定」(<u>P.30</u>)を設定してください。

# ■フォントを埋め込む場合

SVF 環境設定で PDF プリンター機種の [フォント設定] を設定します。

### [PDFフォント設定]画面

	フォント			グラフィックモードや追加したフォント
--	------	--	--	--------------------

次のように設定します。

["<フォント名>","<フォントパス>",<フォント番号>,<CMAP パス>,<コード範囲>,<埋め込みフラグ>,"<フォントロケール>"]

#### 設定例

["SUMinchoV","/usr/jdk1.5.0/jre/lib/fonts/SUJPMLFV.TTF",1,0000-FFFF,,True,"Embed"], ["SUGothicV","/usr/jdk1.5.0/jre/lib/fonts/SUJPGBFV.TTF",1,0000-FFFF,,True,"Embed"]

- [フォント名]に、様式ファイルで指定したフォント名ではなく、[Font.Alternative]で指定した <代替フォント名> を指定します。
- [フォントパス] に、SU/SUV フォントのファイル名をフルパスで指定します。
- [埋め込みフラグ] に、「True」を指定します。

### ●参考

- 設定例の場合、PDF ファイルの [文書のプロパティ] [フォント] で表示されるフォント名は「SUMinchoV」です。
- PDF ファイルの表示環境に、SU/SUV フォントは必要ありません。

# ■ フォントを埋め込まない場合

#### 1.

SVF 環境設定で PDF プリンター機種の [フォント設定] を設定します。

#### [PDFフォント設定]画面

フォント設定	グラフィックモードや追加したフォント
12 4 2 1 8XX	2

次のように設定します。

["<フォント名>","<フォントパス>",<フォント番号>,<CMAP パス>,<コード範囲>,<埋め込みフラグ>,"<フォントロケール>"]

### 設定例

["SUMinchoV","/usr/jdk1.5.0/jre/lib/fonts/SUJPMLFV.TTF",1,0000-FFFF,,False,"ja\_JP"],["SUGothicV","/usr/jdk 1.5.0/jre/lib/fonts/SUJPGBFV.TTF",1,0000-FFFF,," False ,"ja\_JP"]

- [フォント名] に、様式ファイルで指定したフォント名ではなく、 [Font.Alternative] で指定した <代替フォント名> を指定します。
- [フォントパス] に、SU/SUV フォントのファイル名をフルパスで指定します。
- [埋め込みフラグ] に、「False」を指定します。

#### ቇ፟参考

- 設定例の場合、PDF ファイルの [文書のプロパティ] [フォント] で表示されるフォント名は「SUMinchoV」です。
- PDF ファイルの表示環境に、SU/SUV フォントが必要です。

PDF ファイルの表示環境に、SU/SUV フォントを配置しない場合は、SVF 環境設定で、PDF ファイルに表示されるフォントをMS フォントに戻す設定が必要です。

次の SU フォントは、あらかじめ MS フォントに戻すように設定されています。

- SUMincho
- SUGothic
- SUPMincho
- SUPGothic
- SUEuropeanR
- SUOCR-B

上記の SU フォントを PDF ファイルの表示環境に配置しない場合は、2. 以降の手順は不要です。

上記の SU フォントを PDF ファイルの表示環境に配置し表示させたい場合は、MS フォントに戻す設定を削除する必要があります。2. 以降の手順に進んでください。

上記の SU フォント以外のフォントを PDF ファイルの表示環境に配置する場合は、2. 以降の手順は不要です。

上記の SU フォント以外のフォントを PDF ファイルの表示環境に配置しない場合は、2. 以降の手順に進んでください。

### ቇ参考

PDF ファイルの表示環境に、SU/SUV フォントを配置しない場合は、ソフトフォントを使用して出力することも可能です。ソフトフォントの設定方法については、「SVF for Java Print ユーザーズマニュアル」または「SVF for PDF ユーザーズマニュアル」を参照してください。

### 2.

出力する PDF のプリンター機種の設定ファイル(日本語のデフォルトの PDF プリンターの場合、
[vfreport.PDF.PDF.properties.ja] )をテキストエディターで開きます。

#### 3.

#### ▶ あらかじめ設定されているSUフォント以外のフォントを表示環境に配置しない場合

次の箇所を、[Font.Alternative] で指定した代替フォント名から PDF ファイルに表示するフォントを紐付けするために、以下の記述で設定します。

Substitution.Font="<代替フォント名>","<PDFファイルで表示させるフォント名>"

#### 設定例

Substitution.Font =["SUMinchoV","MS 明朝"],["SUGothicV","MS ゴシック"]

▶ あらかじめ設定されているSUフォントを表示環境に配置し表示させたい場合 該当する SU フォントの設定を削除します。

#### 設定例

Substitution.Font =



ファイルを保存する際は、言語ごとのエンコーディングを指定してください。

# 4-2-2 ベーシックモード

様式ファイルでアイテムを作成するときに、SU/SUV フォント、MS フォントのどちらを指定しても出力できます。

# ■フォントを埋め込む場合

SVF 環境設定で PDF プリンター機種の「フォント設定」を設定します。

### [PDFフォント設定]画面

フォント設定	グラフィックモードや追加したフォント
2 4 2 1 000	

次のように設定します。

["<フォント名>","<フォントパス>",<フォント番号>,<CMAP パス>,<コード範囲>,<埋め込みフラグ>,"<フォントロケール>"]

### 設定例

["SUMinchoV","/usr/jdk1.5.0/jre/lib/fonts/SUJPMLFV.TTF",1,0000-FFFF,,True,"Embed"],["SUGothicV","/usr/jdk1.5.0/jre/lib/fonts/SUJPGBFV.TTF",1,0000-FFFF,,True,"Embed"]

- [フォント名] に、様式ファイルでアイテムを設計するときに指定したフォント名を指定します。
- [フォントパス] に、SU/SUV フォントのファイル名をフルパスで指定します。
- [埋め込みフラグ] に、「True」を指定します。

# ቇ፟参考

- 設定例の場合、PDF ファイルの [文書のプロパティ] [フォント] で表示されるフォント名は「SUMinchoV」です。
- PDF ファイルの表示環境に、SU/SUV フォントは必要ありません。

# ■ フォントを埋め込まない場合

#### 1.

SVF 環境設定画面から「PDF」プリンターを選択し、PDF のプロパティ画面上から PDF フォントを設定します。

フォント設定 グラフィックモードや追加したフォント...

#### [PDFフォント設定]画面

次のように設定します。

["<フォント名>","<フォントパス>",<フォント番号>,<CMAP パス>,<コード範囲>,<埋め込みフラグ>,"<フォントロケール>"]

#### 設定例

["SUMinchoV","/usr/jdk1.5.0/jre/lib/fonts/SUJPMLFV.TTF",1,0000-FFFF,,False,"ja\_JP"],["SUGothicV","/usr/jdk 1.5.0/jre/lib/fonts/SUJPGBFV.TTF",1,0000-FFFF,," False ,"ja\_JP"]

- [フォント名] に、様式ファイルでアイテムを設計するときに指定したフォント名を指定します。
- [フォントパス] に、SU/SUV フォントのファイル名をフルパスで指定します。
- [埋め込みフラグ] に、「False」を指定します。

### ቇ፟参考

- 設定例の場合、PDF ファイルの [文書のプロパティ] [フォント] で表示されるフォント名は「SUMinchoV」です。
- PDF ファイルの表示環境に、SU/SUV フォントが必要です。

PDF ファイルの表示環境に、SU/SUV フォントを配置する場合は、2. 以降の手順は不要です。

PDF ファイルの表示環境に、SU/SUV フォントを配置しない場合は、様式ファイルで指定したフォントと PDF ファイルで表示させるフォントを紐付けることができます。2. 以降の手順に進んでください。

# ቇ参考

PDF ファイルの表示環境に、SU/SUV フォントを配置しない場合は、ソフトフォントを使用して出力することも可能です。ソフトフォントの 設定方法については、「SVF for Java Print ユーザーズマニュアル」または「SVF for PDF ユーザーズマニュアル」を参照してください。

### 2.

出力する PDF のプリンター機種の設定ファイル(日本語のデフォルトの PDF プリンターの場合、
[vfreport.PDF.PDF.properties.ja] )をテキストエディターで開きます。

# 3.

次の箇所を、様式ファイルで指定したフォント名から PDF ファイルに表示するフォントを紐付けするために、以下の記述で設定します。

Substitution.Font= "<様式ファイルで指定したフォント名>","<PDF ファイルで表示させるフォント名>"

▶ 様式ファイルでSUVフォントを指定した場合の設定例

Substitution.Font = ["SUMinchoV","MS 明朝"],["SUGothicV","MS ゴシック"]

▶ 様式ファイルでMSフォントを指定した場合の設定例

Substitution.Font = ["MS 明朝","MS 明朝"],["MS ゴシック","MS ゴシック"]

## ▲注意

ファイルを保存する際は、言語ごとのエンコーディングを指定してください。

# 4-3 EMF

ここでは、EMF 機種で SU/SUV フォントを使用するための設定方法を説明します。

# 4-3-1 グラフィックモード

# ▲注意

EMF 機種での出力は、グラフィックモードのアイテムが 1 つでも存在すると、ページ全体がイメージとして出力されるため、ベーシックモードのみのアイテムで出力したときと比較して処理時間が長くなり、ファイルサイズが大きくなります。

様式ファイルでグラフィックモードのアイテムを作成するときに、MS フォント指定した場合は、「4-1 グラフィックモードの共通設定」(P.30)を設定してください。

EMF 機種の設定は必要ありません。

# 4-3-2 ベーシックモード

様式ファイルでアイテムを作成するときに、SU/SUV フォントを指定してください。

SVF 環境設定、EMF 機種の設定は必要ありません。

## ቇ፟参考

- ベーシックモードで出力する場合、EMF ファイルの表示環境に、SU/SUV フォントが必要です。
- EMF ファイルの表示環境に SU/SUV フォントを配置しない場合は、ソフトフォントを使用して出力することも可能です。ソフトフォントの設定方法については、「SVF for Java Print ユーザーズマニュアル」または「SVF for PDF ユーザーズマニュアル」を参照してください。

# 4-4 SVF for Java Printのプリンター機種

ここでは、SVF for Java Print のプリンター機種で SU/SUV フォントを使用するための設定方法を説明します。

グラフィックモードに対応している機種でのみ出力できます。

# 4-4-1 グラフィックモード

様式ファイルでグラフィックモードのアイテムを作成するときに、MS フォント指定した場合は、「4-1 グラフィックモードの共通設定」(P.30)を設定してください。

SVF 環境設定でプリンター機種の設定は必要ありません。グラフィックモードを指定したアイテムは、イメージで出力されます。

# 4-4-2 ベーシックモード

SU/SUV フォントの出力に対応していません。

### ቇ参考

ベーシックモードで出力したい場合や、グラフィックモードに対応していないプリンター機種で出力する場合は、ソフトフォントを使用して出力してください。ソフトフォントの設定方法については、「SVF for Java Print ユーザーズマニュアル」または「SVF for PDF ユーザーズマニュアル」を参照してください。

# 4-5 サロゲートペア文字の出力

SVF Ver. 8.2 以前では、SUV フォントを利用することでサロゲートペア文字を出力できます。SUV フォントは、サロゲートペア 領域の文字を Unicode の外字領域にマッピングしています。ここでは、サロゲートペア文字を出力するための設定について説明します。

# 4-5-1 対応機種

SUV フォントを利用したサロゲートペア文字の出力は、次の機種に対応しています。

- PDF
- EMF

# 4-5-2 SVF環境設定ファイルの変更

設定方法は次のとおりです。

#### 1.

以下の場所にある「vfreport.properties.ja」をテキストエディターで開きます。

UNIX/Linux 版	\$FIT_PRODUCTS_BASE/svfjpd/lib 配下
Windows 版	%FIT_PRODUCTS_BASE%¥svfjpd¥lib 配下

### 2.

次の箇所を編集し、上書き保存します。

Support.Encodings に UTF-16 を追記します。

Support.Encodings=SJIS,MS932,Cp942,Cp942C,Cp943,Cp943C,UTF-16

以下の設定を追記します。

Unicode.Judgement=SUVFontCharacter

以下の設定を追記します。

Unicode.SurrogateProcessing=True

Font.Alternative の項目で、様式ファイルでアイテムを作成するときに指定したフォントと SVF サーバー上にインストールした SUV フォントを紐付けします。

Font.Alternative="<様式ファイルで指定したフォント名>:<SUV フォント名>"

#### 設定例

Font.Alternative="MS 明朝:SUMinchoV,MS ゴシック:SUGothicV,MS P明朝:SUPMincho V"



ファイルを保存する際のエンコーディングは、SJISを指定してください。

# 4-5-3 プリンター機種別設定

## PDF

サロゲートペア文字を PDF 出力する場合、SVF 環境設定にてフォント設定でフォントを埋め込む必要があります。フォント設定については、「4-2-1 グラフィックモード」(P.31)の「フォントを埋め込む場合」を参照してください。

## EMF

EMF 機種の設定は不要です。外字をソフトフォントで出力する場合にはソフトフォントの設定が必要となります。この場合、サロゲートペア文字の出力に使用する、Unicode の外字領域「F7CF~F8FE」を含めてソフトフォントを作成する必要があります。

# 4-5-4 SVF関連製品からのサロゲートペア文字の出力

ここでは、SVF 関連製品から SUV フォントを利用してサロゲートペア文字を出力する設定について説明します。

# ■ Universal Connect/X 連携での出力

# ■ CSV (テキスト) データファイルの指定

CSV データファイルの場合、CSV データの先頭に<start> <end>というタグを入れ、このタグの間に既定の関数「SvfEncode=UTF-16」を指定します。また、データの保存形式は「UTF-8 BOM なし」で保存します。

#### エンコードの指定

### ■ XML データファイルの指定

XML データファイルの場合、<form svfencode="UTF-16">を指定します。

#### ■ CSV データフォーマットの変更

Universal Connect/X 経由での出力は、データファイルのエンコードは UTF-8 となります。 Universal Connect/X の動作 設定画面より [実行ファイル] タブにある [CSV データフォーマット] を「その他」から「UTF-8」に変更します。



Universal Connect/X動作設定画面 – [実行ファイル] – [CSVデータフォーマット]

# ■ SVF Connect for Java API 連携での出力

SVF Connect for Java API 連携での出力では、帳票サーバーに SUV フォントをセットアップしておきます。アプリケーションプログラム側からは、VrInit()関数の引数として、通信上のエンコードに UTF-8、SVF エンコードに UTF-16 を指定します。

左辺に通信上のエンコード、右辺に SVF のエンコードを記載します。

VrInit("UTF8:UTF-16")

#### 設定例

```
Vrw32 svf = new Vrw32()
ret = svf.VrInit("UTF8:UTF-16");
ret = svf.VrSetPrinter("プリンター名","PDF");
ret = svf.VrSetSpoolFileName2("Sample.pdf");
ret = svf.VrSetForm("hachusho.xml",4);
:
```

# 4-5-5 制限事項

サロゲートペア文字出力に関しては、次の制限事項があります。

- SVF エンコードに UTF-16 を指定する必要があります。 VrInit("UTF-16")を指定してください。
- サロゲートペア文字は、フィールドでの出力にのみ対応しています。固定文字でサロゲートペア文字は使用できません。
- QR コード、バーコード、チャート、テキストフレームなどフィールド参照でデータを出力するアイテムでは、サロゲートペア文字は使用できません。
- 外字をソフトフォントで出力する場合、Unicode の外字領域「F7CF~F8FE」を含めてソフトフォントを作成する必要があります。
- SVFX-Designer の Form Designer および Query Designer でテスト印刷をテストデータ取り込みモードで行う場合、サロゲートペア文字は使用できません。
- PDFに出力したサロゲートペア文字は、文字検索対象外となります。
- Report Director Enterprise にスプールする場合、サロゲートペア文字は外字に変換されてスプールされます。

# 第5章 SVF関連製品からの出力

# ■ SVF for Web/Client、PAlite、Print Assistant、SVF Client for .NET Framework API Plus 連携での出力

#### EMF

ベーシックモードのアイテムを使用した場合、各製品のインストール環境に SU/SUV フォントが必要になります。

#### EMFPLUS

各製品のインストール環境に、様式ファイルでアイテムを作成するときに指定したフォントが必要になります。

# ■ Report Director Enterprise 連携での出力

Report Director Enterprise から出力する場合、以下の機種にも対応しています。

- Adobe PostScript(File)
- Canon LIPS4(Security)
- PDF(Security)
- PDF(Print) (9.2 以降)
- RDPreview(EMF)
- RDPreview(EMFPLUS)(9.2以降)
- RICOH RPCS(Security)

様式ファイルでアイテムを作成するときに、MS フォントを指定した場合は、SVF 実行部製品の単体利用時と同様に、「vfreport.properties. <ロケール>\*1」の設定が必要です。

「3-1 グラフィックモードの共通設定」(P.11)、または「4-1 グラフィックモードの共通設定」(P.30)を参照してください。

また、Report Director Enterprise を複数のサーバーで利用する場合、スプール時、および印刷時に利用するすべてのサーバー上で、「vfreport.properties. <ロケール>\*1」の設定を同じ設定にしておく必要があります。

\*1. ロケールには、実行する言語の以下のいずれかの SVF ロケールが入ります。 ja、cs\_CZ、en、fr\_FR、ko、zh\_CN、zh\_TW、th\_TH

### PDF

Report Director Enterprise から PDF 出力する場合の「フォント設定」は、Report Director Enterprise 環境設定、または RD 環境設定の「フォント設定」で設定する必要があります。フォント設定で設定する内容については、「3-2 PDF」 (P.14) または「4-2 PDF」 (P.31) を参照してください。

[Substitution.Font] は、Report Director Enterprise では、バージョンにより以下の項目名で表示されます。

バージョン	項目名
9.1 以前	[代替するフォントリソースを指定します。]
9.2	[代替フォント]

上記の項目名は、すべてのプリンタープロパティを表示した場合に表示されます。すべてのプリンタープロパティを表示させる方法は、ご利用のバージョンのマニュアルを参照してください。



Report Director Enterprise で PDF を出力するには PDF オプションが必要です。